

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	画像誘導放射線治療における位置照合精度を担保しうる至適撮影線量の推定に関する検討
②対象者及び対象期間	
2022 年 1 月から 2026 年 6 月に新潟大学医歯学総合病院放射線治療科で放射線治療装置 TrueBeam または Radixact を用いて頭部、頭頸部、胸部、腹部および骨盤部に対する画像誘導放射線治療を受けた 100 名程度の患者様が対象になります。	
③概要	
この研究では、過去に新潟大学医歯学総合病院で、「TrueBeam」または「Radixact」という放射線治療装置を用いて、頭部、頭頸部、胸部、腹部および骨盤部のがんに対する画像誘導放射線治療（治療前に CT 画像を撮影して治療位置を確認する放射線治療）を受けられた患者様を対象とします。治療のために撮影された CT 画像や関連する診療情報を研究に利用させていただきます。 研究で使用する情報は、患者様個人が特定できないよう匿名化して管理し、お名前や住所などの個人情報外部に公表されることはありません。また、この研究のために新たな検査や通院をお願いすることはありません。研究への情報の利用を希望されない場合は、いつでもお申し出いただけます。利用をお断りいただいても、今後の診療において不利益を受けることは一切ありません。	
④申請番号	2026-0124
⑤研究の目的・意義	本研究では、放射線治療の直前に撮影する CT 画像を用いて、治療位置を確認する際の「適切な撮影線量」を明らかにすることを目的としています。CT 画像は撮影線量を高くすると見やすくなりますが、その分、患者さんの被ばくは増加します。一方で、線量を下げすぎると画像が見えにくくなり、正確な位置確認が難しくなる可能性があります。本研究では、これまでに診療で撮影された CT 画像を解析し、コンピュータ上で撮影線量を変えた場合の画像を再現することで、安全な位置確認に必要な画質を保ちながら、撮影線量をどこまで低減できるかを検討します。 本研究の成果は、不要な被ばくをできるだけ減らしながら、安全で精度の高い放射線治療を提供するための基準づくりにつながることが期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	画像誘導放射線治療のために撮影された CT 画像および関連する診療情報（治療計画用 CT 画像、位置確認用 CT 画像、身長、体重などの体格情報）を研究に利用します。これらの情報をもとに、コンピュータ上で撮影線量を変えた場合の画像を再現し、画質や治療位置の確認への影響を解析します。解析は、個人が特定できないよう匿名化した情報を用いて実施し、研究で得られた情報を外部へ提供することはありません。

⑧利用または提供する情報の項目	画像誘導放射線治療のために撮影された CT 画像および関連する診療情報（治療計画用 CT 画像、位置確認用 CT 画像、身長、体重などの体格情報）
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院 放射線治療科：滝澤健司（研究責任者） 新潟大学医学部保健学科：宇都宮悟、成田啓廣
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 放射線治療科 特任助教 滝澤健司
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院 放射線治療科 氏名：滝澤健司 Tel：025-227-2315 E-mail：ttakizawa@med.niigata-u.ac.jp